

第57回 関東ブロック 老人福祉施設研究総会

第12回 山梨県老人福祉施設研究総会

メインテーマ

探そう介護の可能性

～ここにみんなの未来がある～

オンライン開催

配信期間

令和4年

木

金

9月1日▶30日

メインアトラクション

山梨が誇る日本一が揃い踏み!

記念対談

春高バレー初優勝

日本航空高校男子バレーボール部
監督 月岡 裕二氏

オープニングムービー

太鼓祭 日本一決定戦6度優勝

日本航空高校 太鼓隊

【主催】

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
山梨県老人福祉施設協議会

【後援】

山 梨 県 市
甲 府 市
山梨県社会福祉協議会

〈参加費〉お一人様 10,000円(税込)

〈参加対象〉①全国老施協会員施設・事業所の役員及び職員等
②老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会の役員及び職員
③その他本会が認めた方

開催概要

オンライン開催

動画配信期間
 令和4年9月1日(木)～30日(金)

メインテーマ
 探そう介護の可能性
 ～ここにみんなの未来がある～

開催趣旨

新型コロナウイルス感染症(COVID19)は、パンデミックを起こし、老人福祉施設等においても感染症対策の強化に加え、感染症の影響下にあっても持続可能な福祉サービスの提供体制の再構築が求められています。

また、人材確保、処遇改善など取り組むべき課題が山積する中、ケアの質の向上を目的とした科学的介護情報システム(LIFE)や介護ロボットの導入が広がり、大きな転換点に直面しています。

このような状況だからこそ、介護職員だけでなく、現場に携わるすべての人と介護の本質を改めて問い直し、これからの介護の可能性を考え、共有し、新たな実践へつなげることが大切です。昨年度に続き完全オンライン開催となりますが、より多くの人たちへ多様な発信ができる強みを活かし、介護の明るい未来へのかけ橋となるよう、本大会を開催いたします。

主催

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
 山梨県老人福祉施設協議会

後援

山 梨 県
 甲 府 市
 山 梨 県 社 会 福 祉 協 議 会

プログラム

関東ブロック老人福祉施設研究総会

全大会	1. オープニングムービー (⇒参照 P3) 2. 式典 ・ 歓迎あいさつ ・ 主催者あいさつ ・ 来賓祝辞 ・ 令和4年度感謝状受賞者紹介 3. 基調報告 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 4. 記念対談 (⇒参照 P3) 日本航空高校男子バレーボール部 監督 月岡 裕二 氏 5. 次回開催県紹介 群馬県
	分科会

山梨県老人福祉施設研究総会

研究発表	研究発表 全 23 題 (各約 15 分) (⇒参照 P9)
------	--------------------------------

動画視聴について

- ◆動画の視聴には申込みが必要です。
- ◆両大会すべてのプログラム・研究発表動画が視聴可能です。
- ◆配信期間中はいつでも何回でも視聴可能です。
- ◆参加者1名ごとに視聴ID・パスワードを発行します。
- ◆動画の録音、録画、撮影、転用、資料の外部提供は固く禁止します。
- ◆動画視聴ID・パスワードは申し込まれた方のみ利用可能です。

参加申込は
 こちらから



第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会 第12回山梨県老人福祉施設研究総会 [合同大会]

メインアトラクション

山梨が誇る日本一が揃い踏み!
日本一への思い、日本一の技をとくにご覧ください。

記念対談

今年、部を春高バレー(全日本バレーボール高等学校選手権大会)優勝に導いた月岡監督をゲストに招き「バレーボールを一にする」という考え方、「優勝に導いた指導力」などをテーマに山梨県老人福祉施設協議会・石井貴志会長と対談を行う予定です。



日本航空高校男子バレーボール部 監督
月岡 裕二 氏

プロフィール
1968年生まれ。藤沢商(現・藤沢翔陵)卒業後、明治大学を経て、サントリーに入社。サントリーではコーチやアナリストを兼任しながら、7年間プレー。現役引退後の1998年より日本航空監督に就任。



今年1月県勢初の全国制覇を果たした男子バレーボール部のメンバー

オープニングムービー

日本一に6度輝いた日本航空高校太鼓隊の圧巻のパフォーマンスと共に山梨の雄大な自然や美味しい食べ物を紹介します。

日本航空高校 太鼓隊

プロフィール
創部43年。主な演奏曲は日本航空学園の校風「自由と規律」を基調としたオリジナル曲で、他にも皆様が聞いたことのある楽曲を和太鼓でアレンジし演奏しています。全国から集まった仲間と共に和太鼓を通じて日本の精神文化を体現し、礼儀や心構え、協調性を学んでいます。主な受賞歴として、山梨県高等学校文化連盟が主催する大会において文部科学大臣賞や文化庁長官賞を受賞。また、太鼓協会が主催する「太鼓祭 日本一決定戦」において5年連続6回の日本一を受賞致しました。



サイト内特設ページの紹介

大会期間中にWebサイト内に以下の特設ページを掲載予定です。介護に役立つ情報や、山梨の特産品やグルメなど情報盛りだくさんで紹介します。

ピックアップ



特設ページ① すぐに役立つ介護情報

介護をする上で、こういうものがあったら便利だな!
もっと効率よく仕事が進む方法がないかな?
あなたの一助を担うタイムリーな
情報盛りだくさん!

介護に関わる機器、企業の紹介。
効率化や業務改善など介護に役立つ
情報を多数掲載します。



ピックアップ



特設ページ② 山梨県の特産品情報

フルーツやワイン・伝統工芸品など
魅力的な山梨県の特産品の紹介!
また、実行委員会メンバーおすすめの
グルメやお店も紹介します。

山梨が誇るフルーツ・ワインをはじめ
伝統工芸、ご当地グルメなど様々な
特産物の紹介。実行委員会メン
バーがおすすめするお店紹介など
山梨の魅力が分かるページです。



第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会

第12回山梨県老人福祉施設研究総会 [合同大会]

関東ブロック老人福祉施設研究総会 分科会研究発表一覧

第1分科会 介護分野における取組						第2分科会 職種別の取組									
第1分科会		第2分科会		第3分科会		第1分科会		第2分科会		第3分科会		第4分科会		第5分科会	
個別ケア		多職種連携・業務負担軽減		その他		ケアマネジャー		看護・機能訓練		栄養士		生活相談員		事務職員・その他	
都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨
群馬県 ほなみ (特養) 介護職員 丸橋 友美	施設理念実践におけるユニットの認知症の入居者様の身体機能や心の変化及び職員の対応の変化	新潟県 あかね園 (特養) 施設長 渡邊 雅朗	施設内にてクラスターが発生。多職種の連携により収束に向けて動く。その時の連携体制の構築等、実際の動きを交えて報告したい。	さいたま市 高齢者総合福祉施設 敬寿園 (特養) 介護職員 山村 祐貴 介護職員 瀬尾 智之	施設の魅力度を高める為、満足して頂けるケアの提供、安心でできる生活空間について、見直す機会を作り研究の成果を事例発表する	千葉県 裕和園 (特養) 介護支援専門員 河野 健一	「最後まで口から食べる」を目指した多職種連携	東京都 砦ホーム (特養) 機能訓練指導員 小谷野 祐樹	褥瘡ケアにおける経過記録のデジタル化による多職種連携にかかる効果について～デジタル時代の褥瘡ケア～	神奈川県 栗原ホーム (特養) 管理栄養士 増田 真希子	喫食量が減少しているご利用者様に、少量でも1日に必要な栄養量が摂取できる独自の高栄養ムースをメーカーと協働で作りました。	千葉県 ゆいまる習志野 (特養) 生活相談員 宮崎 隼	内部研修への取り組み方について。単に「やるだけ」でなく、内容をケアに活かす、「響く研修」を行う為の仕組みづくりに努めた。	長野県 さかき美里園 (特養) 副施設長 大滝 弘子	法人・施設内で事務職員としての実践が地域における公益的な取り組みにつながる可能性を考える。
神奈川県 太陽の家 (特養) 介護職員 遠藤 知美	自宅を貸していた学生を我が子のように接していたT様の「もう一度、皆とパーティーをやりたい」その夢の実現に向けた取組。	東京都 ケアポート板橋 (特養) 栄養士 安藤 貴規	厨房における食材発注ミスの撲滅～事務作業の標準化と効率化～	栃木県 カルベ而今 (特養) 介護職員 山崎 紋美	(課題)令和2年4月のオープンから2年間で52名(定員60名)の退去～AI、ICTの科学的根拠をもとに原因を追及する～	山梨県 奥湯村園 (特養) 介護支援専門員 内澤 通泰	嘱託医による看取りの診断を受けた方への支援を通じ、看取り計画書が解除になるまでの変化や過程についての考察	静岡県 竜爪園 (特養) 介護職員 山本 麻衣 機能訓練指導員 伊藤 祐貴	感染拘縮の予防をフロア職員がワンケア・ワンリハビリの取り組みを行ってきました。毎月評価をしてミーティングで職員間の情報共有をした成果の発表。	新潟県 豊浦愛宕の園 (特養) 管理栄養士 竹田 智子 管理栄養士 伊東 和馬	令和3年度より新設された「栄養マネジメント強化加算」の算定について、これまで取り組んできた内容について発表。	山梨県 尚古園デイサービスセンター (デイ) 生活相談員 河西 拓海	「料理がしたい」というご利用者からのニーズを実現するための計画・実践、生活への影響などの取り組みと評価。	神奈川県 ケアホーム三浦 (特養) 歯科衛生士 木藤 ひろみ 歯科衛生士 菊嶋 愛子	特養における歯科衛生士の役割を具体的な症例をまじえながら紹介します。
埼玉県 扇の森 (特養) 介護職員 福岡 杏菜 介護職員 青木 光	対象者様の身体や心の痛みに音楽で向き合い、痛みの緩和や改善、QOLの向上を目指し、日常生活がどの様に変化したかを発表します。	静岡県 グリーンヒルズ東山 (特養) 主任 村上 絹代 主任 柴田 侑樹	働きやすい職場環境の構築 インカム導入で業務改善 導入時の問題点と成功するためのポイント	千葉県 ちば美香苑(特養) 介護職員 片岡 碧仁 介護職員 椎名 繁吹 主任特養 後藤 直輝 生活相談員 山口 咲栄	演題「排泄ケアシステム Helppadを活用して」 副題「おむつの中がわかる。介護の現場が変わる。～入所者、職員の様々な変化～」	栃木県 敬愛荘 (特養) 介護支援専門員 葛西 大樹 グループリーダー 川又 洋志	特養において「ALP」に取組み、ご本人の希望や要望、将来の医療やケアの要望をもとに、自己決定・実現に向け支援している内容を発表する。	新潟県 よねやまの里 (特養) 機能訓練指導員 有間 智巳 歯科衛生士 薄波 清美	むせる・ため込みなど食事摂取が困難な重度要介護高齢者に対して、「完全側臥位法」による食事介助を行うことで改善がみられた実践例	東京都 東京令和館 中野 (特養) 管理栄養士 松山 貴恵	常食がもたらす入居者の食事の楽しみへの効果と、さらなる食生活への改善～食形態改善に伴うコスト削減～	群馬県 ハーモニー 広沢 (特養) 生活相談員 阿部 陽子	LIFEの活用を視野に入れて取り組んだ食事摂取量が低下したAさんの事例から見た、多職種連携の課題と今後の可能性。	横浜市 けいあいの郷 影取 (特養) 言語聴覚士 菊地 麻里	特養入居者の握力が食形態を決める判断材料になり得るのか考察した。併せて摂食・嚥下障害臨床的重重度分類(DSS)との関連も検討した。
茨城県 アクティブハートさかど (特養) ユニットリーダー 佐藤 里美 介護職員 有村 幸智枝 介護職員 相田 剛志	介護ロボット見守り支援器を使った個別ケア実践事例。睡眠センサー「眠りSCAN」の活用方法を交えながら個別ケアへの取組み事例をご紹介します。	山梨県 笛吹荘 (特養) 介護職員 三枝 貴子 介護職員 矢崎 了	ICT導入により業務軽減につながった事	川崎市 新緑の郷 (特養) 管理栄養士 西久保 早苗 管理栄養士 小渡 高広 管理栄養士 飯田 七海	皆でつくる栄養ケアマネジメント～入居者と家族の想いを込めて～	群馬県 ことぶきの郷 (特養) 介護支援専門員 石田 剛大	特別養護老人ホームにおける自分(施設ケアマネ)の役割、組織の中での位置、介護士との関係等、業務を遂行する中での課題や対応について報告していきたい。	山梨県 田富荘デイサービスセンター (デイ) 理学療法士 渡邊 恭介	介護士、看護師、機能訓練指導員等が連携を図りながら、利用者の移動能力、排泄行為に対し、自立支援に努めることが在宅生活継続していく上で重要である。	茨城県 成華園 (特養) 管理栄養士 益子 慎司 管理栄養士 額賀 悠介	栄養部門を組織化したことにより分業を図った。結果として栄養ケアマネジメントの実施効率向上が図れている。組織化の有効性について報告を行う。	東京都 長洲園 (特養) 生活相談員 鈴木 謙太郎 介護職員 力丸 仁美	特養で身寄りがない利用者への在宅復帰支援～コロナ禍での在宅復帰 家探しからのスタート～	群馬県 希望館 (特養) 施設長 後閑 善之	事務部人事課の創設について(障害者雇用をきっかけに新しい課が創設され、労務管理から採用関係に至るまで業務移譲した事例。)
静岡県 小鹿なでしこ苑 (養護) 介護職員 荒谷 泰航	円背がある入居者に対して、個に合ったポジショニングを実施した結果、筋緊張が緩み、楽な姿勢で睡眠、食事を取れるようになった。	長野県 アザレアンさなだ (特養) 管理者 永井 悦子	ご本人の意思、ご家族の想いを汲み取り、多職種連携で最期の時を迎えた。『ご本人らしい最期』を経験した事例。	相模原市 ケアプラザ さがみはら (特養) 施設長 大塚 小百合 ケアサービス課長 岩田 由美子	ターミナルケア・医療との連携「心残りゼロケア」への挑戦～寄り添い、共に紡ぐACP～	千葉県 東風荘松里館 (特養) ユニットリーダー 宮崎 未咲 介護支援専門員 宮内 夏子	新規入居者が病院で寝たきりになった経緯とその疑問からADL向上の可能性を信じ、笑顔を取り戻すため、家族と多職種で取り組んだ実践報告	神奈川県 逗子杜の郷 (特養) 機能訓練指導員 浦野 英樹 介護職員 吉住 公伸	排泄支援を多職種協働で取り組み、利用者様の機能向上を目指す。みんなで、できる力を支援し、その人らしく繋がる活動に取り組みました。	静岡県 プレーグおおひと (特養) 調理員 後藤 光子 管理栄養士 飯田 洋美	腸の働きを良くすることが栄養の吸収を高め健康に繋がるのはと、腸内環境を整えるため発酵食品を多く取り入れる研究とした。	栃木県 JOYSフィットネス クラブ (デイ) 生活相談員 大橋 真美 管理者 小林 朋子	歩行状態の評価ができる「Qz-TAG」を活用し機能訓練による効果等を可視化し、訓練への意欲向上に繋がる取組を発表する。	山梨県 明山荘 (特養) 介護副リーダー 大森 悠生 ケアスタッフ 山中 薫	1年間介護副リーダーを行い、気づいた事や業務内容を発表します。
栃木県 グループホーム カトレア (グループホーム) 介護職員 岩村 早苗	認知症の行動障害から薬による拘束が問題となっている。ケアの方法や質の見直し、薬を軽減し、その人らしさを取り戻せる取り組みをしている。	新潟県 悠久の里 (特養) 管理栄養士 宮崎 美紀 看護師 西片 佳子	「褥瘡をつくらない、増やさない、きれいに治す」を目標に多職種連携ケアの取り組み結果。					茨城県 松籟荘 (特養) 理学療法士 横倉 弘明	当施設におけるLIFE導入の実例を紹介し、導入時の役割分担や科学的介護推進加算の分業と帳票作成に必要な能力について考察します。	埼玉県 むさしの (特養) 栄養士 斎藤 香織 管理栄養士 寺島 和幸	摂食嚥下に問題を抱えている方が安全においしく食べることができるよう、口から食べる楽しみの支援の充実を目指した取り組みについて発表します。				

第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会

第12回山梨県老人福祉施設研究総会 [合同大会]

関東ブロック老人福祉施設研究総会 分科会研究発表一覧

第3分科会 在宅サービスの取組				第4分科会 養護・軽費・ケアハウスの課題と方向性				第5分科会 経営管理に対する取組					
第1分散会		第2分散会		第1分散会		第2分散会		第1分散会		第2分散会		第3分散会	
デイサービス		その他		養護		軽費・ケアハウス		災害・感染症		魅力ある職場づくり		地域のためにできること	
都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨	都県市・施設名・職種・氏名	発表要旨
静岡県 浜松中央長上苑 デイサービス センター (デイ) 介護職 鈴木久美子	理学療法士と連携し介護職員中心の機能訓練に一新し一年が経過した。利用者が急増した半面、新たな課題も出てきたので取り組んだ。	横浜市 六角橋地域 ケアプラザ (包括・在宅) 地域活動交流 コーディネーター 原島 隆行	2016年から活動する大学生、商店街、企業等が世代や属性を超えて連携する認知症啓発活動の経緯とコロナ禍の活動について報告する。	茨城県 盲老人ホーム ナザレ園 (養護) 生活相談員 岩谷 英俊 生活相談員 澤幡 沙津樹	～うつ病からの回復～視覚障害の女性利用者が周囲の人間関係のトラブルから、うつ病が悪化。不穏状態から回復するまで職員が取り組んだ支援内容を発表させていただきます。	川崎市 すえなが (ケアハウス) 相談員 宮野 辰也	自立型ケアハウスにおけるコロナ感染予防対策の実績と課題～新型コロナウイルス感染症予防対策と利用者の両立について～	栃木県 にこんきつれ荘 (特養) 介護職員 筒井 弘樹 介護職員 小嶋 啓介	新型コロナウイルス感染症(デルタ株)施設内クラスターが発生し、従来型施設の終息1ヶ月の対応と今後の感染症予防策について。	埼玉県 ひびき (特養) 介護副主任 深沢 大樹	技能実習生への技術移転と成長を追いかけながら、私たちがどのように対応してきたか。今後の目標も含め発表します。	相模原市 古淵デイサービス センター (デイ) 相談員 土井 綾女	学校・地域との連携 ボランティアの心が広げる支援の輪 ～見てもらえる喜びから人の役に立つ喜びへ～
神奈川県 松林ケアセンター (デイ) 管理栄養士 清水 宏美	低栄養を改善するには、生活全体を知り支援していくことが重要であり、多職種連携だけではなくご家族の協力も必須である。	埼玉県 加須市加須・大桑・水深高齢者相談センター (包括・在宅) 社会福祉士 地主 光枝 社会福祉士 永野 智佐	公的な福祉サービスに頼るのではなく、自治会、民生委員会等の結びつきを深め、地域住民と協働して取り組んだ実践事例について発表します。	東京都 安立園 (養護) 主任生活相談員 幡野 光希	養護老人ホームに於ける入所者のライフコースと職員に対する思いの理解に基づく研修会の取り組み～研究機関との連携の試み～	長野県 銀松苑 (ケアハウス) 理事長 藤巻 秀卓	ケアハウスの運営説明	千葉県 ときわ園 (特養) 施設長 酒井 章年 業務サポート部門 酒井 潤	「災害時、防災対策マニュアルの電子化」というテーマで、災害対応工程管理システム「BOSS」を全国初導入し、研鑽を重ねています。	長野県 総合福祉施設 須坂やすらぎの園 (特養) 総務部総務課係長 藤澤 登志子	老人福祉施設に児童・医療施設を導入して、職員の福利厚生を充実。結果、定着率は上がり、人材不足は解消。	千葉県 九十九里ホーム (特養) コーディネーター 庄村 秀泰 飯倉駅前地区 まちづくり協議会 他	過疎の地域の社会福祉法人がこどもから高齢者・障害者の医療・介護・福祉に幅広く対応できるように施設を建設、運営し、「生涯活躍のまちづくり」として地域の活性化の取組を報告する。
茨城県 しらとり ハワイアンデイ (デイ) 相談員 日向野 桂子 介護職員 清水 直人	大型デイサービスでの取り組みが新型コロナウイルスの影響でどのように変わり、コロナ禍で行なえるプログラムを試行錯誤した実践報告。	栃木県 フローラ (ケアハウス) 生活相談員 武田 治夫 生活相談員 白井 真理子	パワーアップ教室やポピュレーションアプローチ等で地域の介護予防に大きく貢献しているコミュニティ・ケアやけやき館を紹介する。	静岡県 するが荘 (養護) 機能訓練指導員 佐藤 優真 生活相談員 溝口 里実	多様な役割が求められる『養護』が福祉拠点の価値提供をご利用者の社会参加や地域貢献の視点から検討・実践した事例を発表する。	新潟県 虹の家 (ケアハウス) 生活相談員 川村 美奈子	コロナ禍における生活の変化～あたりまえの生活の維持と感謝～	長野県 富竹の里 (特養) 施設長 嶋田 直人	令和元年東日本台風では千曲川決壊し、甚大な被害が発生しました。この教訓も踏まえ自然災害BCP作成の取り組みをお話させていただきます。	群馬県 Green Rose (特養) 介護主任 小田 智晃	ICTを活用したケアの改善と24時間オンライン面会への実現に向けた取り組み	新潟県 まちだ園 (デイ) 機能訓練指導員・看護職員 内宮 英理	コロナ禍でこれまで築いた地域との関係が途絶えている状況を打開すべく、利用者の社会参加やSDGsへの取り組み等を紹介する。
東京都 昭島市高齢者在宅サービスセンター 愛全園 (デイ) 通所介護副主任 中嶋 直樹	デイサービスとショートステイの連携によるシームレスな支援についての事例研究～自宅退院後の介護保険サービスの重要性について～	千葉県 八千代市阿蘇・睦地域包括支援センター (包括) 生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員 氏家 和紀	演題「趣味でつながるネットワークづくり」副題「暮らしの中の自分らしさ」課題「圏域内の集合住宅で高齢化率が高い。一人暮らしによる孤立化、孤独死が課題となっている。」	栃木県 アオーラ而今 (養護) 生活相談員 湯澤 対 介護職員 上川原 卓実	事例を通して、高齢者のマンパワーを養護老人ホームで活かすキャリアパスの工夫と支援の実践を考察する。	神奈川県 ルツの家 (ケアハウス) 生活相談員 市原 和紀 介護職員 坪 千鶴子	①閉じこもりがちのご利用者の活動支援 ②地域の皆さんの生きがい活動の場の確保 双方の課題を結びつけ、ニーズを満たす取り組み。	東京都 神明園 (特養) 役務部生活支援係 主任 井上 祐介	事業継続計画の実行性を高める取り組み～職員が使える事業継続計画を考える～	横浜市 育生会よつば苑 (特養) 通所介護部長 横野 智洋 介護課長 長田 栄作	日本国内の介護人材不足を考慮2008年からEPAを受け入れ始め外国人が長く就労できるサポート体制を作成した。	山梨県 明山荘小規模多機能型居宅介護事業所 (小規模多機能型) 介護職員 堀内 美智 介護職員 岩下 友昭	2018年より山梨市にある山梨百名山「甘利山」登山を実施してきた。これまで継続して行ってきた全7回の登山について紹介いたします。
群馬県 デイサービス センターさとの花 (デイ) ケアワーカー 山田 恵美	デイサービス流個別ケアの実践。個人の強みを活かした安心できる居場所づくり。充実した在宅生活実現の取り組み			埼玉県 熊谷ホーム (養護) 生活相談員 栗原 徹	「骨密度測定装置を活用した事故防止・介護予防への取り組み」について、骨密度を上げるアプローチを実施し、その取り組みを発表します。	群馬県 藤美荘 (軽費) 事務職員 反町 智美	軽費老人ホームにおける現状と課題	新潟県 白鳥荘 (特養) 介護係長 木村 英樹	新型コロナウイルス感染症が発生したユニット型施設の感染対策と対応事例について	長野県 シルバーハウス ゆめの郷 (特養) 施設長 菅垣 充英	外国人労働者(EPA介護福祉士候補生・技能実習生)の受入れにおける成果と課題	静岡県 伊豆市土肥地区 地域包括支援センター (包括・在宅) 社会福祉士 佐藤 孝之	社会資源に限りのある少子高齢化の最先端の地域で住民と社会福祉法人の連携を促進し住民主体の支え合い活動を組織化した取組み
				長野県 うすだコスモ苑 (養護) 介護福祉士 沖浦 節子 介護課長 新海 八重子 人材確保担当 征矢野 文恵	養護老人ホーム入居者の高齢化と介護の重度化が進む中、重度化予防に向け取り組んでいる認知症事例について報告させていただきます。			山梨県 しのめ (特養) 介護職員 堀内 優樹 介護班長 渡辺 美智子	新型コロナウイルスが流行してから現在までの施設内での対応法の変化の経緯を発表	神奈川県 さつき (特養) 介護福祉士 佐藤 北斗	職員定着率が高い実感はあったが理由まで掘り下げたことはなかった。本調査を通じ強みを明確にすることで今後につなげていきたい。	川崎市 多摩川の里 (特養) 保健師 山中 悦子	認知症カフェは誰にでも開かれた交流の場～「ほっこりカフェ」の開催と継続のために～

山梨県老人福祉施設研究総会 研究発表一覧

テーマ	テーマ・施設名・職種・氏名	発表要旨	テーマ・施設名・職種・氏名	発表要旨	テーマ・施設名・職種・氏名	発表要旨
①看取り介護	① 春風寮 (養護) 支援員 宮澤 真太郎 支援員 土屋 晃子	(主題) 自分のために歩く意欲を取り戻して (副題) ADLを維持するケア	④ デイサービスセンター奥湯村園 (デイ) 介護職員 内藤 圭太	利用者様の意欲向上につながる機能訓練の取り組み事例	⑥ 笛吹荘 (特養) 介護職員 鈴木 陽子 介護職員 飯野 友紀	食事介助から自立摂取に至るまで
②認知症ケア	② 桜井寮 (特養) 介護職員 塩澤 正太 介護職員 石田 晴美	バリエーション療法を用いた関わり方をした事例。	⑤ ゆめみどり (特養) 介護職員 雨宮 由佳 介護職員 落合 優次	コロナ禍でイベントや外出などが出来なくなってしまったが、その中でも利用者様が楽しんでもらえるような事を探して行っていく。	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
③食事・栄養・口腔ケア	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
④機能訓練サービス	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑤アクティビティ・レクリエーション	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑥個別ケア (事例等)	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑦ユニットケア	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑧ケアプラン	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑨リスクマネジメント	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑩職員研修	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑪福利厚生	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑫業務改善	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑬経費削減	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑭地域貢献事例	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑮重度化対策	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑯小規模多機能型サービス	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑰新型コロナウイルス	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み
⑱その他	② 恵信ロジェ山梨 (デイ) 介護職員 丸山 拓也	認知症の利用者様とのコミュニケーションにおける言語、表情、視覚を用いたアプローチ方法について	⑥ トリアス (特養) 介護福祉士 内田 拓也 介護福祉士 井口 幸治	利用者様に合った福祉用具の検討と作成	⑫ 昭寿荘 (特養) 介護主任 佐野 武志	介護補助員を導入し、介護スタッフから「雑務」を外したことにより、サービス・ケアが利用者とうち向き合いやすくなった取り組み

大会参加申込案内

申込方法

参加については、以下の要領でお申し込みください。

なお、請求書は順次、事務局から発送させていただきます。また、変更事項やお取り消しにつきましては、締切日まで行うことができます。締切後は、変更・お取り消しはできませんのでご注意ください。

- ステップ1 **フォーム入力** 専用フォーム(以下URL・QR)からお申し込みください。
- ステップ2 **請求書送付** ご請求書は順次送付いたします。
- ステップ3 **ご入金** 請求書の内容をご確認の上、請求金額をお振込みください。
- ステップ4 **申し込み完了** 事務局がご入金を確認できた時点で申し込み完了メールをお送りいたします。

お申し込みはコチラから

<https://teaser.57kanburo-y.jp/>



変更・取り消しについて

- ◆申込期間中は内容変更・取り消しが可能です。
- ◆お申し込み後の変更・取り消しは上記URLよりお願いいたします。
- ◆参加費につきましてはご入金後の返金はございません。予めご了承ください。

申込期間

令和4年7月1日(金)～8月21日(日)

※申し込み期間は延長する場合がございますので詳しくはHPをご覧ください。

参加費

お一人様 10,000円(税込)

【参加申込に関するお問い合わせ先】

第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会

第12回山梨県老人福祉施設研究総会 合同大会事務局 (株式会社ユーティーワイ企画 内)

☎055-237-0660 ☑57kanburo-y@utyad.jp

山梨大会

探そう介護の可能性

～ここにみんなの未来がある～



東沢大橋付近の紅葉(北杜市)

昇仙峡(甲府市)

武田信玄公像(甲府市)

全体会・分科会・協賛申込に関するお問い合わせ先

山梨県老人福祉施設協議会

山梨県甲府市北新一丁目2-12 山梨県福祉プラザ4F
☎055-254-8689 FAX055-254-8734

参加申込に関するお問い合わせ先

第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会

第12回山梨県老人福祉施設研究総会 合同大会事務局(株式会社ユーティワイ企画内)

山梨県甲府市湯田2-9-8 UTY会館

☎055-237-0660 ✉57kanburo-y@utyad.jp